

- ① 手洗い・咳エチケット・・・マスク（登下校・体育・外遊びは外す）、手洗いをしよう
- ② 「健康観察カード」の記入・・・毎朝熱をはかり、体調のチェックをしよう
- ③ 3つの密（密集・密接・密閉）をさける・・・両手を広げたくらいの距離をとろう

とうこうまえ

〈登校前〉

- ・毎朝熱をはかり、風邪の症状がないか確認する。「健康観察カード」に記入する。熱や体調など、普段とちがうときは無理をしない。

- ・ハンカチを必ず持ってくる。

暑いとき、息苦しさを感じたときは、人との距離をとり、マスクをはずして様子を見ましょう。

とうげこう

〈登下校〉

- ・友達と手をつないだり、肩を組んだりせず、道路の端をしっかりと歩く。

がっこう

〈学校で〉

- ・昇降口では、間隔をあけて待つ（両手を広げたくらい）。マスクをつける。

- ・「健康観察カード」は、昇降口前で出し、確認してもらう。忘れた場合は、熱をはかる。
- ・水とハンドソープでしっかり手洗いをし、ハンカチでふく。
- ・先生や友達と話すときは、少し距離をとる。

きゅうしょく

〈給食〉

- ・給食は前を向いて食べる。必要なこと以外は話をしない。
- ・給食をもらう時や返す時は、間隔をあけて並ぶ。

- ・給食当番は、白衣を着る前によく手を洗う。当番以外の人は、手を洗ったらすぐに席に座る。



手洗いのタイミング

- ・教室に入る前
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ・トイレの後
- ・給食を食べる前と後
- ・外にある物やみんなで使う物をさわった時
- ・掃除の後

町四小 学校生活で気をつけること

町四小 生活指導部

感染症対策に対する考え方

- ・手洗いやせきエチケットなどの基本的な感染症対策の徹底
- ・学校医や学校薬剤師等と連携した校内保健管理体制の整備
- ・日頃の連絡体制を確認しておくこと
- ・集団感染のリスクが高い、以下の3つの条件が同時に重なることを徹底的に回避
 - ① 換気の悪い密室空間
 - ② 多くの人が密集
 - ③ 近距離での会話や発声

都立学校版 感染症予防ガイドライン（東京都教育委員会）より

〈登校前〉

- ・毎朝、家で検温及び風邪症状の確認（健康カードの記入）をして登校させる。
- ・昇降口では、密集しないように間隔をあけて（両手を広げたくらい）待たせる。
- ・登校時刻より早くならないよう指導する。
- ・ハンカチを持たせる。
- ・マスクを外して登校させる。マスクを入れる袋を持たせる。（体育、給食でマスクをはずした時等）
- ・遅刻した場合は保健室の外側で検温等健康観察を行う。

〈学校〉

- ・児童が昇降口に入る前に健康カードを提出させ、チェックをする。
- ・マスクの着用（登校時は外す、健康カードチェックを終えたら着ける）を伝える。
- ・検温等、健康カードを忘れた児童には、自動検温器で確認をさせる。（昇降口に設置する）
- ・教室に入る前に手洗いをさせる。（校庭や専科教室から帰ってきた時）
- ・教室のドア、窓は開けておく。
- ・教室の席はできるだけ離す。
- ・一日一回以上、消毒液を使用する。（放課後、手すり・ドアノブ・トイレのドア等の消毒いただく。）
- ・自分の学年のトイレを使用する。（専科の授業時は別）
- ・トイレの時間が込み合わないよう、学年で少し時間をずらすなどの工夫を行う。（5分休憩）
- ・早退する場合は、養護教諭か担任が用意する。（児童にはさせない）

〈給食〉

- ・給食は前を向いて食べる。
- ・給食当番は白衣を着る前にしっかり手を洗うよう指導する。他の児童は、手洗いを済ませたら着席して待つ。
- ・給食ワゴンは、担任が運ぶ。
- ・配膳・返却は、間隔を空けて並ばせる。
- ・必要なこと以外は話をしない。
- ・教員はエプロン（白衣）・三角布・マスクを付ける。

〈図書館〉

- ・割り当ての時間は使用可能。
- ・図書館に入る前、出た後には手洗いをさせる。
- ・貸出・返却を行う際は、グループごとにするなど、カウンターに集中しないように工夫する。
- ・借りた本は返却処理をして、ワゴンに置く。(元の場所に戻さない)
- ・本を読む時は、2つか3つの部屋に分け、距離をとるよう指導する。

〈休み時間〉

- ・校庭にいるときはマスクを外す。
- ・教室内で過ごしてもよいが、読書・絵を描く等、個人でできるものを行う。

〈下校〉

- ・マスクを外して下校するよう伝える。
- ・友達と手をつないだり肩をくんだりしないよう指導する。